

科の説明

多岐にわたる皮膚疾患は、様々な原因のもとに皮膚自身あるいは全身性疾患に関連した結果現れるものであり、その診療にあたっては、正確な知識と十分な臨床経験を必要とする。当科は日本皮膚科学会専門医研修施設に認定されており、常勤医師3名で外来、入院、手術治療を手がけ、若手医師の皮膚疾患に対する習熟度を高め、ローテートで訪れる研修医の教育に力を入れている。

一般目標

皮膚疾患を有する患者に対して、専門的な治療が必要であるかどうかを判断し、一般的な皮膚疾患に対しては自ら適切な処置ができるように、皮膚科研修において様々な皮膚疾患を経験する。また、患者家族の心理面に配慮しつつ、理学的所見を中心とした皮膚科的診断とその治療を行うことのできる臨床能力を習得する。

行動目標

- 1) 皮膚病変を観察し、発疹の形態、部位、大きさなどを客観的に記載することができる。
- 2) 一般的な皮膚疾患を診断するために、病歴をとり肉眼的診断を行い、基本的皮膚科検査を選択することができる。
- 3) 皮膚生検の手技に習熟し、応用することができる。
- 4) 真菌検査を習熟し、白癬、癬風などの真菌性疾患の診断、治療を行うことができる。
- 5) 外用療法としてステロイド外用療法や一般的外用剤の作用機序を理解し、接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、虫刺傷、日焼け、慢性湿疹、褥瘡、疣贅などの治療を行うことができる。
- 6) 皮膚科領域の手術症例に対して、助手として手術に参加し、真皮縫合、植皮術における採皮などの基本的手技を会得する。

経験目標

- 1) 湿疹、皮膚炎、乾癬等一般的皮膚疾患の診断治療
- 2) 膠原病、自己免疫疾患等、全身検査や、全身的治療を要する疾患の診断治療
- 3) 皮膚外科、特に皮膚悪性腫瘍、熱傷手術等における植皮術の習得

指導体制

外来で指導医・研修協力医の指導のもと、皮膚科治療を研修する。

週間スケジュール

	午前	午後	時間外
月曜日	外来診療	病棟回診、特殊外来	症例検討会 病理検討会
火曜日	外来診療	手術、褥瘡回診	(手術)
水曜日	外来診療	病棟回診	
木曜日	外来診療	褥瘡回診	症例検討会
金曜日	外来診療	手術	(手術)

定例研修会

会名	世話人	開催曜日	会場
三重大症例検討会	水谷	毎木曜日	三重大皮膚科医局
三重皮膚科医会	野内	年1回	不定
三重皮膚科専門医会	野内	年2回	不定
松阪伊勢皮膚懇話会	小西	年1回	不定

具体的な研修方法・留意事項

- 1) 実地診療で患者さんを前にしたとき、正確な皮膚病変の把握とともに、初診時までの治療内容や他疾患での投薬歴など、様々な患者の背景について充分認識すること。
- 2) 皮膚病変を見るときには、常に内科的疾患との関連や精神的な問題なども考慮し、広い視野で皮膚疾患を考えていくこと。
- 3) 外来診療における問診・視診などはオリエンテーション時、指導医・研修協力医から指導を受ける。
- 4) 微生物学的検査・皮膚生検皮膚テスト（貼布試験など）は外来研修で経験することができる。
- 5) 各種外用剤の特徴と臨床使用については外来研修で経験することができる。
- 6) 術前・術後患者処置、皮膚外科の基本的な手技については指導医・研修協力医に指導を受けながら参加する。
- 7) 植皮術には助手として参加することができる。
- 8) 外来症例検討、病理組織検討については外来研修で経験することができる。
- 9) 熱傷の重症度評価（深達度、面積など）、熱傷の局所治療について経験する。
- 10) 病棟褥瘡チーム回診に参加し、経験褥瘡患者の管理、褥瘡の局所治療創傷被覆剤の特徴と適正使用について経験する。